

遊休農地解消に尽力

埼玉・川越市 田中洋史さん

消防士から転職、10畝で米づくり



【埼玉】「生活に必要な食料を自分でつくりたい」と話す川越市の田中洋史さん(37)の写真。約10畝の農地で米を生産し、遊休農地解消にも力を入れている。

消防士だった田中さん

は祖父・知二さんの農作業を手伝ううちに農業の魅力に惹かれ、2019年に就農した。借入予定地に3畝の遊休農地が含まれていたが、「地域の環境を守れば」と再生を決意。農業委員の協力

もあり、多くの農地を借り受けることができた。

農地再生はゴミ拾いから始まり、抜根や農道の整備など2カ月かけて実施。こうした努力を住民が評価し、面積の拡大につながった。

保育園や福祉施設、スーパー、飲食店などに営業して販路を拡大。母校の城西大学と連携し、「菜の花米」の商品開発なども行う。

田中さんは「販路のさらなる拡大と経営の法人化ができれば」と今後の意気込みを語る。

詳細は、Tomozoy's Farmのインスタグラム(二次元コード)まで。



HIROSHI6778